



わたしは

ダマサレナイ!!

第49話



ATTENTION

「お試し」のつもりが定期購入契約に！ 激安価格で欺く悪質なネット通販

このコーナーで紹介するマンガは、実際に起きた事件を基に、「だましのシーン」を再現したものです。
「私だけは大丈夫」なんて甘く考えていませんか？ 実はそう考える人こそ被害にあいやすいのです。

監修／NACS（公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会）消費者相談室／大井 菜子 マンガ／まきの こうじ



悪質な定期購入契約の主な手口は、動画サイトやSNSのネット広告で通販サイトに誘導し、激安価格やセールの残り時間などを殊更に強調します。反面、定期購入契約が商品購入の条件であることや、返品や解約の条件などを説明する返品特約は、非常に認識しづらいサイト構成になっているため、消費者は購入条件に気が付かずに購入してしまい、2回目以降に商品が届いたときに初めて、定期購入契約が購入条件だったと認識します。そして覚えのない定期購入契約によって、2回目以降は、通常価格という名の下に通販業者から高額な請求をされてしまうのです。

購入条件や返品特約が認識しづらいサイト構成の例をご紹介します。

・「90%オフ」などの強調表示が並ぶ中に、小さな文字で「ご購入について」といったリンクテキストが



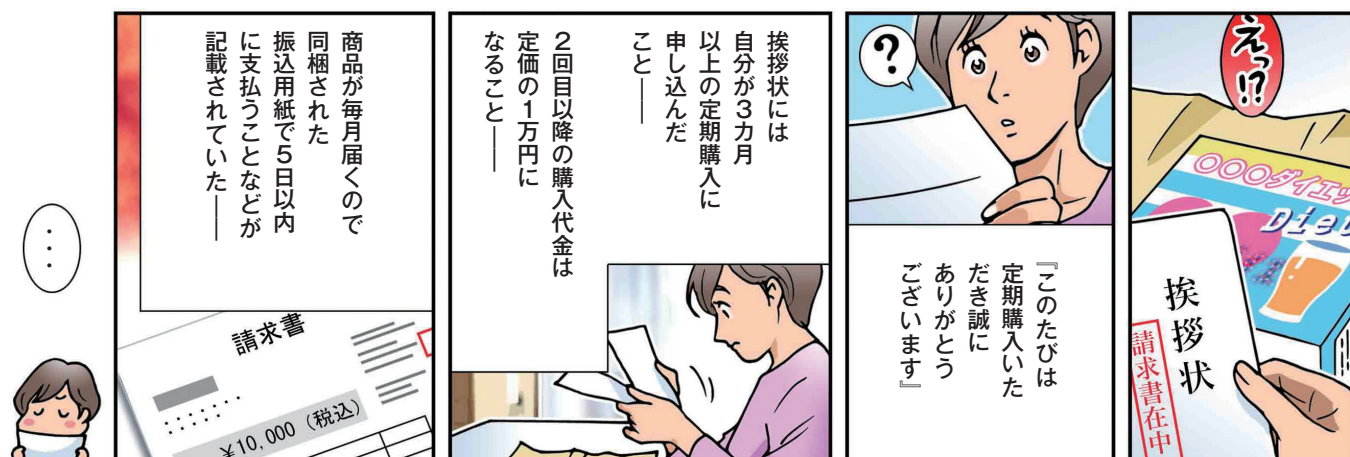
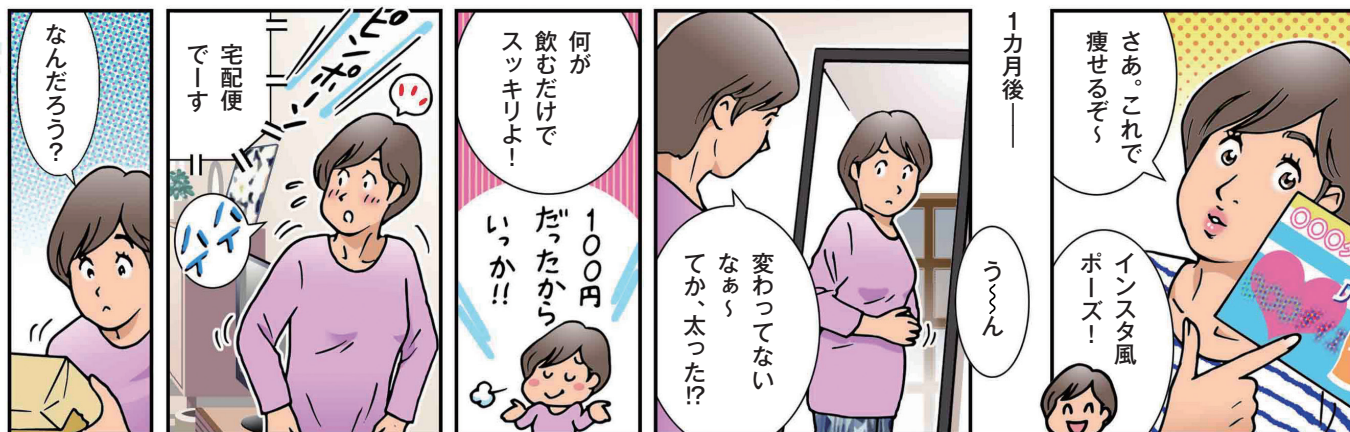
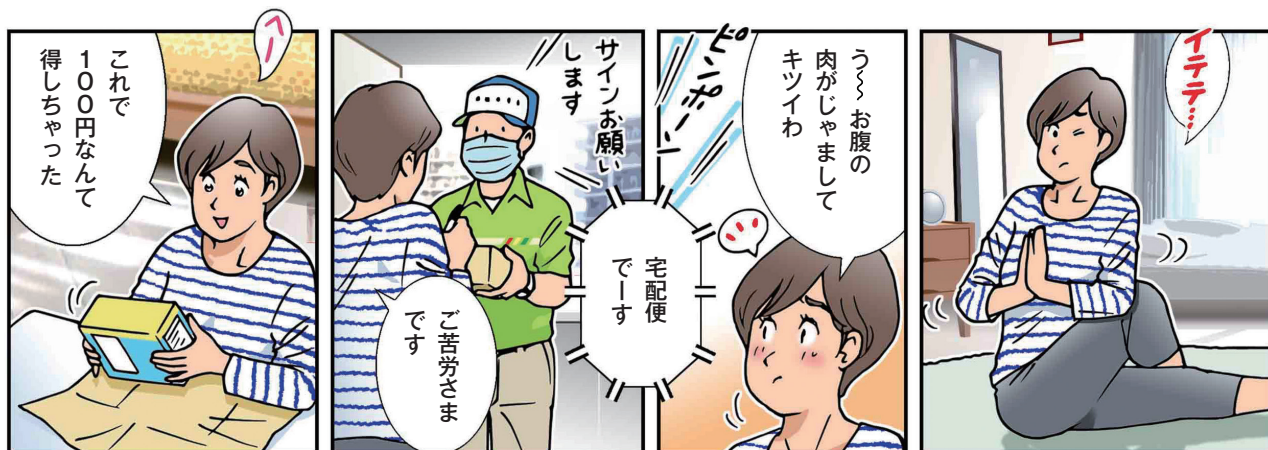
POINT! 2 購入条件を認識しづらい通販サイト
購入金額の何倍も支払うことに

インターネット通信販売（ネット通販）の広告で「お試し価格！ 実質0円」「タイムセール90%オフ」など、通常よりかなり安い価格に誘われて通販サイトにアクセス。商品を購入したあと、覚えのない定期購入契約によって多額の商品代金を通販会社から請求されるといった消費者トラブルが年々増加しています。国民生活センター（P-O-N-E-T）によれば、2018年度の相談件数は2014年度比で約12倍に激増しています。こうした状況に対処すべく法規制も強化されていますが、悪質業者はさまざまな逃げ口を用意しているため、トラブルをスムーズに解決することは難しいと言えます。そのため、まずはトラブルにあわないために細心の注意をすることが大切なのです。



POINT! 1 いつのまにか定期購入を契約
悪質なネット通販トラブルが激増

数日後



4 注文最終確認画面を細心チェック 購入に迷ったときも188へ

特定商取引法では、「顧客の意に反して売買契約等の申込みをさせようとする行為」を行政処分の対象とする。



3 通信販売はクーリング・オフ対象外 返品や解約は返品特約次第

張られ、リンク先に購入条件や返品特約を記載。
・サイトの下部に記載やリンクがあり、スクロールを何度もしないと表示されない。
・強調表示のすぐ下に注文ボタンがあり、注文ボタンをクリックすると、注文ボタンより下部に記載している購入条件等が確認できない。
・注文内容の最終確認画面に初回分の商品代金（セーラー価格）のみが表示され、購入条件や定期購入契約による支払総額が表示されない。
とくにスマートフォンは、サイト全体の内容を把握しにくいので注意が必要です。

